

第2回「寒河江市学校施設整備計画」地域説明会 質疑応答

会場：この木交流センター（柴橋地区コミュニティセンター） 会議室

日時：令和4年10月23日（日）15時00分から16時00分

参加人数：10名

出席者：教育長

学校教育課長（兼）学校再編整備室長

学校再編整備室 室長補佐（兼）係長

学校再編整備室 学校再編整備係主任

（学校教育課長）

事務局からお願いがございます。説明会の意図として、多くの方からご意見をいただきたいのでご発言をお願いします。小・中学校の検討案について、いろいろな面からご意見をお願いしたいと思います。質問からお受けしたいと思います。質問のある方よろしくをお願いします。

（発言者A）

一般市民として、このままでいいのかと心配なので出席しました。この説明会の人数が少ないということについて、10月20日の市報に説明資料、説明動画の回覧が載ったのですが、少々遅かったのではないかなと思います。それでも今日の説明会を見ますと、ずいぶん参加者が少ない。この原因、要因について、教育委員会ではどう思っているのかお聞きしたいと思います。私なりに考えてみますと、今までの第1回の説明等については、ほとんど教育委員会の方で決まったものなのでということで、意見を聞く姿勢ではないということが保護者なり市民の方があまり出席率が少なく、がっかりしているのではないかなと思います。その他、先ほど意見を求めるとのことなので少しお話をしたいと思います。検討委員会、その記録等見ますと、人数が、建物が、財政的にという言葉が多くでていますが、一方、学校のあり方、目標、市全体、そのほか地域との関わりをどうやっていくのか、そういうものがほとんどなく、文科省の方針に沿うような価値観が優先されてきたのじゃないかなと思っています。学校の適正規模、適正配置というのは、文科省では地域によって異なるものと言っております。最も重要なのは、将来の学校像、姿を議論し、一緒に作り育てることと考えます。今までは決まったことではなく、多くの人意見を聞きまして、議論をし、計画、理解することをお願いしたいと思っています。それで、先ほどの他の案、考えについてないかということですので、2点ほど提案したいと思います。

まず1点目は、学校再編に係る方針をしっかりとまとめていただきまして、並行して施設整備、学校再編、子どもたちのことを考え、そのあとに学校再編を考えてほしいと思います。よろしくお聞きしたいと思います。その点から統合案について提案いたします。小学校については、西部地区3校及び三泉、西根小について1回の統合をよろしくお聞きしたいと思います。その場所として私が考えるには、文化センター周辺に新設をして、1回で統合を検討するような考えをお聞きしたいと思います。

中学校の再編については、文科省の推奨する1000人規模のマンモス校ではなく、本市の身の丈にあった中規模校600人以内、そして、魅力ある学校はどうあるべきか、中学校の適正規模、適正配置を考え、また地域の実情等を考えますと2校案で提案したいと思います。そうした場合、いろんなことが出てくると思いますが、行程を明確にし、市民にいついつまでにこうやりますよという、はっきりした提案をよろしくお願いいたします。

(教育長)

ありがとうございます。10月20日のお知らせでは、遅かったのではないかとということでしたけれども、教育委員会としましては、この説明会について、9月20日号の市報でもお知らせをし、小中学校の保護者あてには「さくら連絡網」、市内の20箇所くらいあります保育所、幼稚園、こども園の保護者の方には、説明会を行いますので都合のいい時間にお出でくださいということでもチラシを配らせていただきました。前回の5月のときの説明会は、夜7時30分からということで行ったのですが、夜ですと子どもの面倒をみたり、塾に連れて行ったりとか習い事があって、なかなか来られないということなので、このような形で土曜日、日曜日の日中も開催したところです。教育委員会としましては、もっとたくさんの方にと考えたところでしたが、人数が少ない状況でして、もっと周知を徹底して行うべきだったとっております。学校の方針については、公立の小中学校は学習指導要領があって、それに基づき方向性を決め、そして県の方針、市の方針があるわけです。寒河江市としましては、ふるさとを愛し、寒河江を大事にしてほしい、そういう子ども育てたいということを目指しております。それを受けて、各学校でもそうした活動を取り入れています。例えば陵南中学校では、1年生の時には地域の企業を回って、市内の企業さんがどんな活躍をしているのかといったことを学んだりとか、または、陵東中では大河ドラマの「鎌倉殿の13人」との関わりで、寒河江の歴史について教育委員会の職員を招いて話を聞く機会を設けたりしています。そうしたことを寒河江市の方針に基づいて、各学校で行事、授業づくりをやっているということです。小学校の統合案については、小学校5校を1回で統合すべきだ、中学校は中規模校の2校に、つまり陵南中が1つと陵東中と陵西中の統合というご意見とのことでよろしいでしょうか。

(発言者A)

極端にそこを言われるときついのですが、そういう考えでいくべきではないかという私の私案でございます。これからみなさんで検討していただいて、よりよい方向を検討していただければと思います。

小中学校の一貫校も考えられるわけですから、頭の中に入れていただいて検討していただいた方がいいのではないかとという私案でございます。

(教育長)

これまでの説明会では、陵南中そして陵東中と陵西中の統合の2校としたときに、生徒数の格差が大きくなるという説明をしているわけですが、それに対しては、学区編成替えをしてはどうかというご意見もありましたが、その辺はいか

がですか。

(発言者A)

文科省で言う大規模校ではなく、寒河江市の身の丈に合った中規模校2校の方がよろしいと思います。学区もそうなれば、さわらざるをえないのかなと感じております。ついでに申し上げますと32ページからある学習環境については、これは文科省で出している大規模校をモデルにした冊子でありまして、大規模校になればこうなるのかと、私は疑問です。地域は地域なりの生きていく道を探していかなければならないと思います。

(教育長)

ありがとうございます。

(発言者B)

私もできるだけ参加して説明会を聞かせていただきましたけども、教育長のあいさつにしても、資料の説明にしても、毎回よく同じ説明ができるなと感心しております。敬意いたします。私は、23回引っ越ししておりまして、子どもも小中学校で複数回転校しております。小学校はいくら変わっても強い人間になるとは思っていました。一番心配なのは、私は誰で、ここはどこという、今というアイデンティティの話になってくると自分の居場所がない、自分は誰なのかよくわからない。そういう経験がありましたから、中学校からは中高一貫に入れるようにしました、なんとかいっちょ前な人間になれたのかなとっております。

寒河江市の学校整備計画の不安なところは、計画作成の手順からしても、計画の内容からしても、今、寒河江市が当面している少子高齢化という大きな問題と、市が全体として均衡ある発展を遂げなきゃいけないんだという大前提からすると非常に怪しいと思います。子どもの数が減るとか人口が伸びないとか少子高齢化を前提にして計画を作るのは1つの方法かと思えます。ただ、今、市民の動きがどうなっているかという、町場へ自分の家を空き家にしても駅前周辺、南部地区に人が動くような流れになっている。これでは地域がもたないという不安をもっているんですよ。裏に葉山の山を抱えている、農地も守らなければならない一連の流れからすると、地区で共同活動ができない状況になってきているんです。学校が果たしてきた役割というのは、地域の核として教育の一部分に地域がかかわってきたという事実があるわけです。さらには、学校が地域コミュニティの核をなしてきたという事実もあるわけです。それは否定しませんよね。今回、第1回の説明会のときに同じような意見がありました。学校は地域の核である。学校が無くなると地域がなくなるという意見があるわけです。それについては一言もお答えになっていない。これどうされるんですか。こういう側面から考えていくとですね、今までの諮問委員会の答申の内容、それから諮問委員会では地域での議論を逃げて、市に預けて、そして、市は預かったものをえいやぁと一本で中学校1校案という結論を出しましたが、その議論の過程なり、根拠なり、一切示されていませんよね。今日の説明の中でもこんな意見がありました。それ

で終わりですよ。どういう判断されて、どういう手続きをしたのか一切示していないですよ。これまでの説明会の中でも、陵西が邪魔者みたいな扱いされている、そんな意見もありましたよね。こんなに扱われるのであれば、子どものことを考えて東根にでも引っ越しますよという意見もありましたよね。これについて、どういう風に対応されるんですか。私は諮問委員会の検討の仕方、検討の内容、この辺からも大きな問題があると思いますよ。以前、私は整備計画案というのは、構想ですか基本計画ですか、実施計画ですかと質問しました。これにも答えてもらっていません。その辺の怪しさが、計画内容が十分に検討されたものではないと疑わざるを得ないんですよ。諮問委員会で地域の議論の結論を出せなかったら、出せなかった時点で公聴会を開くなり、町内会の代表が来ているのですから、地域の代表が預かって地域の意見を聞いてみる、その結論を諮問委員会の場で話をされてどうだろうか検討するのが筋だろうと思います。それもされなかった。そして答申案では両論併記で出したのに、預かった市の方がようござんすねと言って、えいやーで切っちゃっている、それはおかしいですよ。全国調べました。そしたら廃校になるような学校計画のときは、地域の話をよく聞いて、時間をかけて検討しているんですよ。そうならないでしょ。えいやーでしょ。これおかしいですよ。そもそも、なぜこんな間違いが起きたかということ、このように手続きして決めますと誰か説明しましたか、宣言されてないですよ。それはおかしいですよ。重大な問題だったら、諮問委員会の委員長が答申はこうですと記者会見していますよ。それをなさっていないのは、おかしくないですか。そこにおおいに怪しさを感じるんです。教育長どう考えますか。また、こういうやり取りしているのを市の職員が、あたり前だといっているのはおかしいですよ。これでは、私の愛する郷土が取り返しがつかないことになると感じて、内部でよく検討しないと、取り返しのつかないことになりますよ。地方分権の2000年頃のあのころから、今でている法律はパブコメやっていますが、パブリックコメントを入れたきっかけは、地方分権です。説明責任、情報開示、透明性、住民参加、協働、そういう流れのなかで進めてきているんですよ。その制度が出来てから20数年経っています。本市の場合はそれが出来てないじゃないですか。だから私は、あれっと思って、ずっと見てきたんです。まだ計画を見直す余地があれば、やり方を含めてどういう風に検討するのか明らかにして、市民にきちんと説明するような時間をかけて議論すべきだと私は考えます。いかがですか。

(教育長)

あり方検討委員会の検討、公表の仕方等について、これはおかしいのではないかという意見は、ご意見としてお伺いいたしました。

ただ、あり方検討委員会としては、2年半かけて検討して、答申を出していただいたということだと思います。その答申を受けて、それは怪しいということがありましたが、答申を受けて教育委員会で検討し、それから市役所の関係各課との調整会議をして検討して、計画をつくって、議決した流れで来たと思っております。しかし、地域の人たちなど多くの方々の意見が反映されていないのではないかとご指摘もございました。5月の説明会でもご意見いただいたわけで、

そして、説明会でもあったいろいろな意見に対して、検討案としてこういった案が考えられる、それ以外にもいろんなことも考えられるんじゃないかということで、ご意見を伺っている状況であります。

（学校教育課長）

その他ございますか。いろんなご意見いただいております。統合するなら早い方がいいとか、陵西学区に学校を残してほしいとか、同じようなご意見でも構いませんので。

（発言者C）

私の感想になってしまうのですが、ある程度地域に住んでいる中では、人口が減っていく、少子高齢化が進むのは仕方ないと思っております。学校の統合は仕方ないと思っております。進め方というの、いろいろ話の中にもありましたが、どの辺まで戻れるのかわからないですが、白紙まで戻れるのであればもう一度考えなおすのもあるかなとは思いますが、それは行政として難しいと思しますので、1校案、2校案、統合するタイミングとか、そこからしか戻れないとすれば、今考えなければならぬということ、ある程度決まっているんでしょうし、行政運営していく中で地方の人口減少を止めるのはなかなか難しいと思いますし、人を減らさない方策とかそういったところから住民を呼び込む方法を合わせて考えていかなければならないのかなと思えます。あとは、統合するとなつてからの手順、小学校であれば、私はいきなり1校に統合するのは厳しいのかなと思ったりするので、段階的に1校にするとか、ある程度時間をかけていく方が現実的かと思えます。私の考えで思っているだけですが、この説明会、いろいろ何回も説明して、時間をかけてくださっているのは、ある程度、今日の説明の中で少しは感じましたし、ただ、どこからこの意見、あと説明会が1回ありますが、どこまで戻っていただけるのかをはっきりしていただいて、ロードマップをもう1回引き直してもらって、最善な方策を考えてもらう必要があるのかなと思うことと、表だけには表れない手順、具体的な考え、子どもたちにとって統合をしていく中でより効果的だとか計画的に進めていけるというのを、今後お示しいただければいいのかなと思えます。

（教育長）

ありがとうございます。このロードマップ検討案で言えば、案Aの小学校の案、中学校の案Aが3月に議決した計画となっております。しかし、それではいろんな問題があるのではないかとご意見をいただきましたので、例えば、こういう案も考えられるのではないかと検討案をお示したところです。ですから、先ほど一度に5校統合がいいのではないかとということもありましたし、そうしたご意見をいただいて、変えるということもありうるということです。

それから、人を呼び込むということ言えば、例えば、寒河江市は18歳までの医療費の無料化とか小中学校の給食費の無料化とか、他の市町よりも先駆けで行っております。実際に、最近の国勢調査での人口減少率をみると、山形県内では平均すると4.9%減少しているのですが、寒河江市は2.4%の減少にと

どまっているということで、県内では減少率が低い状態であると、それは政策の効果の1つであると思いますし、これからもそうしたことを考えながらやっていかなければならないと思います。先ほどのご意見で、陵西学区を除け者に行っているのではないかとありましたが、そういったことはまったくありませんし、例えば、小学校のC案でいけば、陵西学区に小学校を残すべきではないかというご意見も取り入れて、どうだろうかということ投げかけているという状況でありますので、この方がいいとか、こっちの方がいいとか、こういう点で考えなければならぬのではないかとのご意見をだしていただければと思います。

(学校教育課長)
ご意見ございませんか。

(発言者D)
私は、初めての参加なもので、家族が何度か話をお伺いしておりますが、すみません。何か発言するとかそういったことまでまとまっていないので、今日は控えさせていただきたいと思います。

(学校教育課長)
わかりました。後ろの方。

(発言者E)
どのようになっているのかということで、説明会にはじめて参加させていただいて、どのように進んでいるのかなということで様子をうかがいにきました。いろいろな意見もあるし、厳しい意見もあるなど聞いておりましたが、議決をとった案ということで、A案ですよ。いろいろなことを考えてみますと、様々意見もあるし、いろいろな考えあると思いますが、A案に尽きるんじゃないかなというのが私の考えですが、それが一番まとまるとこなんじゃないかと思いました。のけものになるといろいろあるかもしれませんが、そんなことではなく、様々なことを想定して、今後の人口の減少なんかも考えて、2校、3校にするのはいいかもしれないけれども経済的なことも考えて、総合的に考えて、冷静に考えればA案の議決案なのかなと私は思います。以上です。

(学校教育課長)
ありがとうございました。その他、ありませんか。

(発言者F)
前の説明会で引っかけたことですが、今後PTAに説明するというときに、最後の説明をという言葉がでたものですから、最後というのはどういう意味なのか。行程がどういった進め方をするのか示されていないような気がする中で、この最後の説明会というのはどういうことなのか、それだけ教えていただけないでしょうか。

(教育長)

最後の説明会という言い方をしましたでしょうか。

(発言者F)

すいません。訂正して。根底にあったのは、今後PTAに説明するときも同じような形なのかひっかかったものなので、同じような考えでお話するのかなということでした。すいませんでした。

(教育長)

午前中の南部小での説明会では、保護者の方は強制参加ぐらいにしたらいいのではないかというご意見等もありましたが、学校にもお願いして、多くの保護者の方に参加していただけるように呼びかけを強くしていきたいと思います。学校を通して、是非いろんな意見を出してほしいということで、ご案内をして出席をお願いしたいと思っていますところでは。

(発言者F)

ここで話をして、26日までかな。いろんな意見があった。ということの説明する内容についても加味しながら、資料も増やししながら、同じものがすんとつくのか、その確認です。

(教育長)

ご意見等も含みながら、資料もプラスしながら説明していく予定です。

(発言者G)

市議会議員です。12月議会で深くやろうと思ったのですが、ずっと話を聞いてきて、地域のことがない。学校は、子どものためが一番なのですが、地域にとってどういうことか、そこが根本でないかなと思います。陵西学区、西部地区で説明したときに、分館ごとに地域の人が集まりやすい場所で説明会が必要ではないかという意見も出ました。文科省の手引きでは、統廃合を進めるには地域住民の同意を得るようにとあったと思います。子どもも保護者も地域の人学校は大事です。そういうときに陵西学区から一校もなくしてもいいんじゃないかという意見もございしますが、私たちの地域の学校をどうするかというのは、地域の人納得した上で、しょうがないかな、学校のこと、子どものこともあるしと地域の人たちは考えています。そういうときに、いいんじゃない、財政があるからという乱暴な意見ではなく、地域の住民の合意をえてほしい。これが一番じゃないかなと思います。柴橋には、立派な小学校、保育所などがありますが、人口がどんどん減って行って、柴橋も小学校いらなくなるんじゃないかなとなったらどうなるかとか。同じ寒河江市に暮らしている市民として、同じような土台で西部地区のことも考えてほしいなと思います。以上です。

(教育長)

ありがとうございます。私も陵西中に4年おりました。当然、西部地区にも愛

着もあるわけで、簡単に無くしていいと思っているわけではありません。特に令和8年の統合について、いろんなご意見もありましたので、説明会でも、保護者の方からもご意見をとってやってまいりました。先程からありましたように、地域の方の意見も聞けるよということは大変だと思いますし、そういう姿勢は持ち続けたいと思います。

(学校教育課長)

その他ございませんか。

(発言者H)

市議会議員です。第2回の説明会ということで、全会場で市民のみなさんの貴重な意見を拝聴するため、参加しております。回覧もされたんでしょうけども、参加人数が少ないということは残念無念ですし、ここ出身の議員の方も欠席、今日きてらっしゃらない。地元の町会長さん方もこの時間であれば、夜遅くまでということではないので、参加してほしかったというのが私の感想です。それで、いろんな意見、これがいい、あれがいい、地域によって違って来るのかもしれませんが、市民の代表として、総じて意見を集約すると中学校は現状維持がアンケートでも多かった。陵西だけは、統合もしかたないという意見がある、その辺が説明会の中でも出てきている。小学校の方は、陵西学区からまったくなくなるのは困ったもんだという反対意見が非常に多かったと思いますし、他の会場でも校長先生が小中学校の統廃合に関する話を入学式で行い、統合について子どもから聞くことになったということでそのお母さんは怒り心頭みたいでしたけれども、大事な計画の取り扱いが先生方によっても意識が違っている訳ですけど、先ほどの意見にもあったように、この計画が、基本構想なのか、基本計画なのか、詳細計画なのか、実施計画なのか、事業をやるのであれば手順を踏んで実施設計、具体的に事業着手になるんでしょうけれども、その手順すら曖昧でならない。市民のみなさんもわかりにくい。案のCであれば、用地選定、造成がなくなるので、この3年間で空白になるので、その分、着工が前にきてもいいのではないかとということ、B案にだけまちづくりと連動した公共施設とあるが、陵東、陵西の統合、陵南の改築についてもまちづくりと連動した公共施設をつくりながら、人口増を図っていただいて、もっともっと、なんていうかな、さらに進めるべきだと思います。案のC、陵西学区の統合先は醍醐小学校、あまりにも東のすみっこだと思いますか、どちらかというとな陵西学区の中心からずれていて、川を越えて、白岩、高松の人はみんなスクールバスなのか、スクールバスを少なくするのであれば、統合というのは高松小でもいいのではないかと、醍醐小は特認校とか県の特別支援学校みたいなのところも有効活用できるんじゃないかという意見もありましたのでお伝えしたいと思います。

(教育長)

ご意見としてお伺いしました。ありがとうございます。

(発言者1)

午前中に引き続き参加させていただきました。教員をやっております。この度、2月のときにも前教育長にも申し入れをさせていただき、考える会の市民の会の署名活動にも協力いたしました。その中で教員としても、学校統廃合については慎重に考えるべきだということで100名をこえる学校関係者から署名をいただいたところです。ロードマップに示されて、子どもたちが一番だと、子どもたちの学ぶ環境が一番であると考えますので、そのような案になったらいいなと再度申し上げたいと思います。特に小学校、歩いて通えるところに学校があるという意義については考えなければいけないし、子どもたちは今度もっと遠いところにいかなければならない不安なども考えていただきたいし、特別支援学級の子たちにとって環境が変わると気持ちの面で落ち着くまで時間がかかるので慎重のうえにも慎重に対応してほしいと思いますし、地域のみなさんの意見を聞いていただきながら考えていただきたいと強く要望して私の意見としたいと思います。

(教育長)

今ありましたように登下校を考えれば、歩いて通えるのが一番いいと思います。ただ、1つは繰り返しになりますが、高松小は、41年経っている、白岩小は39年、今後10年先を考えればそれにプラス10年になるわけで、1学年5人とか6人になっていく。子どもたちのことを考えたときに、例えば、7人とか8人でいいのか、それとも20何人くらいがいいのかとか、または学年あがるときにクラス替えができる方がいいのかといったことを本当に考えていかなければならないと思います。それぞれの方のご意見を全部が全部叶えるのは不可能な部分はあると思います。その中でどういう形がより良いのか考えていくということが大事なことだと思います。

(学校教育課長)

ありがとうございました。それではないようでしたら終わりたいと思います。